

日立保健所では、社会福祉施設(高齢者施設、障害者施設)の職員の皆さまを対象に、「感染症流行期を乗り越える感染対策～基本的考え方と実践のポイント～」をテーマに研修会を開催しました。
本号では、研修会当日の様子をご紹介します。

感染症対策研修会・意見交換会

●北茨城・高萩会場	【場所】元気の郷大津おはよう館 【日時】令和7年11月26日(水)14:00～16:30
●日立会場	【場所】日立市萬春園 地域交流スペース 【日時】令和7年12月3日(水)14:00～16:30

■第1部 講義・演習

「感染症流行期を乗り越える感染対策～基本的考え方と実践のポイント～」

管内の感染管理認定看護師及び感染制御実践看護師の皆様を講師にお招きし、専門的な視点から、講義・演習を行っていただきました。

講義では、感染を広げない健康管理、換気・ゾーニング、個人防護具(PPE)の選択、環境整備等について伺いました。

演習では、[北茨城・高萩会場]は、会場施設のデイサービス・宿泊室・浴室・トイレ・面会室のラウンドを行い、日頃のケアの場面での感染対策の注意事項とポイントを参加者とともに確認しました。[日立会場]では、疑似吐物を用いて嘔吐時の吐物の飛散範囲を確認した後、PPE着脱及び吐物処理の実演を行いました。

北茨城・高萩会場



◀「標準予防策は、すべての入所者に対して行い、感染・非感染で対応を区別しない」、「汗を除いた、湿ったもの、濡れたものは感染性があると覚えると良い。」と説明する矢吹先生。

矢吹貢一 先生 /
県北医療センター高萩協同病院 感染管理特定認定看護師

日立会場



◀個人防護具(PPE)について、脱ぐ際は「手袋→ゴーグル→エプロンの順に外し、その後手指消毒をする」、「汚染順に外すと覚えると良い」と説明する鈴木先生。

鈴木文子 先生 /
(株)日立製作所日立総合病院 感染管理認定看護師

▶参加者とともにラウンドを行い、日頃のケアの場面の疑問点についての相談を受ける小泉先生。

参加者からは、新型コロナ感染症患者にケアを提供する際の防護具の選択や使い捨て食器使用の必要性について多くの質問が出された。



小泉正美 先生 / 北茨城市民病院 感染管理認定看護師

▶疑似吐物を用いて嘔吐時に吐物が広範囲に広がることを実演・説明する吉川先生。

吐物処理時に、前髪が長いと汚染した手袋で触れてしまうリスクや姿勢を低くした際にガウンの裾が吐物で汚染されるリスクについて説明があった。



吉川優子 先生 / ひたち医療センター 感染制御実践看護師

■第2部 質疑応答・意見交換

「こんな時どうする？～ケアの場面での疑問・悩みを解消しよう～」

「感染対策の疑問点・困りごと」や「各施設での取組」についてグループ毎に情報交換した後、全体で共有しました。その後の質疑応答では、講師から、参考情報としてガイドラインやマニュアル、病院での感染対策状況等について情報提供がありました。

いずれの会場も、活発な意見交換が行われ、事後アンケートでは、「他の施設の状況が知れて良かった」という意見が多く見られました。



お知らせ

● 感染対策WEBセミナー 感染対策の基本と応用「手指衛生の基本と実践」

【日時】令和8年2月9日(月) 18:00～19:00 ※詳細は、日立保健所ホームページをご覧ください。